



「ブックスタート」で絵本に親しむ親子ら

心触れ合うきっかけづくりに

猪苗代町ブックスタート事業

赤ちゃんと保護者が絵本を通じて心触れ合うきっかけをつくる「猪苗代町ブックスタート」は5月16日、町農村環境改善センターで行われました。「猪苗代町ブックスタート」は、10ヶ月健診に訪れた親子を対象に絵本の読み聞かせを行い、参加した親子に絵本1冊とアドバイス集などをプレゼントしています。

この日は17組の親子が参加し、絵本に親しみながら親子の絆を深めました。

翁島小の児童が防火を誓う

翁島小学校少年消防クラブ結団式

翁島小学校少年消防クラブ結団式は5月9日、同校で行われ、5年生9人が入団しました。一条洋一猪苗代消防署長が新入団の9人に少年消防手帳とバッジを手渡しました。児童を代表して5年生の吉田千夏さんが「心身の鍛錬と火災の予防について他の模範となります」と誓いの言葉を述べました。一条署長は「少年消防クラブの活動を通じて、防火防災について学び、火災予防に努めてください」と激励しました。



防火を誓う翁島小学校の児童ら



強烈なパンチを繰り出す阿部選手(左)

激戦の末引き分けに

阿部選手・日本フェザー級タイトルマッチ

ボクシング日本フェザー級タイトルマッチは5月1日、東京都の後楽園ホールで行われ、本町出身のプロボクサー、阿部麗也選手が日本フェザー級王者の源大輝選手との一戦に臨みました。試合は序盤、源選手のパンチがタイミングよく入り、阿部選手は2度のダウンを喫します。3R以降は阿部選手が攻勢をかけてチャンピオンを追い込む展開に。10Rの激戦の末、判定で引き分けとなり、阿部選手の日本タイトル獲得は持ち越しとなりました。

防火の決意新たに

町消防団春季検閲を挙行

町消防団春季検閲は4月29日、猪苗代小学校校庭で行われ、消防団員ら約400人が参加しました。検閲前には町役場から中央通商店街を通り、猪苗代小学校まできびきびとした態度で分列行進しました。検閲では、検閲官の前後公町長らが通常点検を行い、団員の装備品などを確認。規律訓練では、各団員らが訓練の成果を披露しました。前後町長が講評と訓示し、五十嵐幸夫団長が防火への思いを語りました。



きびきびとした態度で分列行進する消防団員ら



スキー場のゲレンデを駆け上がる参加者

スキー場のゲレンデを駆け上がる

ゲレンデ逆走マラソン今季開幕戦

原発事故からの風評被害払拭を目的として町内の6スキー場が協力して企画する「GAMBARUZO! 福島ゲレンデ逆走マラソン」の今季開幕戦、「山頂がゴール! 残雪&猪苗代湖一望レース」は5月6日、猪苗代リゾートスキー場で行われました。レースには、県内外から約380人が参加し、10キロと5キロの2部門で熱戦を繰り広げました。福島市出身のタレントのなすびさんも5キロ部門に参加し、大会を盛り上げました。

野口英世博士の遺徳をしのぶ

野口英世博士 91 回目の命日祭

野口英世博士の91回目の命日祭は5月21日、野口英世記念館内の野口博士の生家で行われました。命日祭では、野口家の菩提寺である長照寺の楠俊道住職が読経した後、野口英世記念会の八子弥寿男理事長や大川原久夫副町長らが焼香し、野口博士の遺徳をしのびました。八子理事長は「5月21日が野口英世記念館の開館日で、今年で開館80年の節目を迎えます。今後も博士の顕彰に尽くします」とあいさつを述べました。



遺徳をしのび焼香する八子理事長(右から2人目)



おはやしに合わせて会津磐梯山を踊る出席者

総会・懇親会を盛大に開催

東京猪苗代町民会総会・懇親会

首都圏などに住む猪苗代町出身者などでつくる東京猪苗代町民会(坂直孝会長)の総会は5月11日、東京都の国立オリンピック記念青少年総合センターで開かれ、会員や前後公町長、町議会議員ら約90人が出席しました。総会に引き続いて開かれた懇親会では、猪苗代民謡伝承会による民謡などが披露されました。また、猪苗代民謡伝承会のおはやしで会津磐梯山を踊り、出席者が交流を深めました。

アート作品を収めた絵本を贈呈

「ウォールアートフェスティバル 2018」絵本寄贈式

「ウォールアートフェスティバル in 猪苗代 2018」事業報告会は4月25日、町役場で開かれました。楠恭信実行委員長が「子どもたちの情操教育を育み、町を盛り上げるきっかけにしたい」とあいさつ。昨年制作された作品などを盛り込んだ「記録絵本」を町内の各小・中・高校へ1冊ずつ寄贈しました。

また席上では、「ウォールアートフェスティバル in 猪苗代 2019」が開催されることが報告されました。



実行委員会から絵本の贈呈を受けた小野康弘猪苗代中教頭(左から2人目)、宇南山忠明教育長